

第109回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和4年2月8日(火) 9:30~10:00	場所	WEB
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、高橋庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、柿崎環境部長、北村議会事務局長、梅原企画政策課長、石原健康課長、堤新型コロナウイルス感染症対策担当課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、穂山地域安全係長			
付議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナウイルスワクチン接種について</li> <li>2 陽性者・濃厚接触者について</li> <li>3 各部連絡事項</li> </ol>			
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が陽性となった場合の待機期間の考え方</li> <li>・市議会通知(感染者報告)</li> </ul>			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <p>・政府はまん延防止等重点措置を延長する方針を固めている。いうまでもないが、かなり深刻な状況が続いている。専門家の方々のご意見では今週や来週あたりがピークではないか、感染者数は3万人台に上るのではないかなど、さまざまな見解が示されてはいるが、いずれにしてもまだその渦中にある。</p> <p>・小金井市の感染者は毎日東京都の方から報告されているが、昨日時点で3,994名。うち退院等が3,079名ですから、915名の方が現在療養中とことになります。そしてその大半が自宅療養とみられております。おそらく明日明後日ぐらいには1,000人ぐらいにはなってしまうだろうと思っております。濃厚接触者も、家族のかたがほぼ濃厚接触者になるとすれば、ほぼその同数以上いらっしゃるってことなので、2000人以上の方々の方が自宅で過ごされていると言う風に考えられます。引き続き、自宅療養者・濃厚接触者の方々へのご支援につきましては重要なご支援でございますので、どうかよろしく願いいたします。</p> <p>・ワクチン接種につきましては、三回目の接種率は18歳以上で初めて一割を超えまして、多くの方々に打っていただいております。11,693名の方が三回目の接種を終えました。全人口では9.38%となっております。東京都の平均が約6%台ですから、高い水準でワクチン接種が本格的に進められております。ワクチンにつきましては色々節目がありますが、2月5日に64歳以下で7月から8月に二回接種をした方、約38,000人に接種券を発送していただきました。そして、2月10日からいよいよ予約開始。そして、2月12日から大規模接種会場の接種がスタートいたしまして本格的な一般フェーズの接種が始まるという状況であります。私自身も一回目、二回目がファイザー、三回目はモデルナを打ちます。私もインターネットを通じてですね。大規模接種会場の予約をさせていただいて、ワクチンの接種に臨ませていただきたいと思いますと考えております。</p>				

さらに、2月23日頃には、5歳～11歳の方々への接種券を送り、3月12日の予定で、こちら旧西友ビルでのワクチン接種もいよいよスタートするという状況。担当の皆様方におかれましては、その準備に全力を尽くしていただいているところです。昨年に続く二回目の大規模接種会場の設置、2月12日から5月11日までのまる三ヶ月間、接種会場として旧西友ビルを活用させていただきます。

私の方からは地権者の方々へのご丁寧な御礼、ご挨拶、そして大規模接種会場の周辺の方々、自治会や商店街など、また近隣の店舗など、関係者の方々に私自身もご挨拶に伺ってまいりました。

このワクチン接種、非常に重要でありますので、希望する方が迅速かつ安全に接種できるように、引き続き医師会・薬剤師会・訪問看護連絡会の皆様方と緊密な連携をとってワクチン接種を全力ですすめてまいりたいと思っております。

・今検査キットがかなり不足しているという状況で。こちらはぜひ政府においてはですね。輸入や国産も含めて最大限早期の調達をしていただきたいと思いますと考えます。また、経口薬につきましては、報道ですが、いわゆる国産のシオノギ製薬の申請が、今週末から来週にもいよいよ行われて、早ければ2月の末にもその供給が段階的に始まるという吉報も報道で届けられているところでありまして、早期に国産の経口薬が、市民の手に届くように流通されることを、願っているところでございます

・市内におきましては、さまざまな施設で毎日のように大勢の方々の新規陽性者が判明しているところです。担当する所管課の方々におかれましては、情報収集や公表の準備など、さまざまな業務に追われていると思いますが、公表基準につきましては、見直しを行なって前回の全員協議会でもご承認頂いたと理解してございますので、適切に对应していただきたいと思います。

・何よりも市役所におきましても、感染しない感染させないという感染予防対策をしっかりとしていただきまして、日々の業務、社会・経済活動につながっていくように色々な創意工夫をしながらご尽力いただきたいと思いますと考えております。

・政府も東京都もテレワークや時差出勤制度の活用、オンライン会議の活用など呼びかけておりますから、小金井市役所としても、民間事業者の方々の模範となるようなコロナ対策を行ないながら日々の業務に努めてまいりたいと思っております。

尚、職場におきましては、さまざまな通知を出しておりますけれども、感染者・自宅療養者・濃厚接触者が職場で判明した時には、速やかに職員課、総務部や理事者の方に連絡をとっていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。なによりも職員の皆様方の日々の健康管理に気をつけてください。

それから再三申し上げますが、コロナ関連毎日のようにさまざまな情報が届けられてきております。小金井市としても、市民の皆様方に正しい情報をしっかりと伝えていくことが大切だと思っておりますので、情報発信には全力で努めていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。

## 1 新型コロナウイルスワクチン接種について

(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)

・昨日の厚生文教委員会でも一部申し上げましたが、先週金曜日の医師会・薬剤師会との協議の結果、3月12日のところから大規模接種会場で、金・土・日に接種するという方向です。ただ、昨日の最新の情報で、3月下旬に新規のワクチンが来ないことが分かりましたので、曜日等縮小を考える必要があるため、現在協議中です。というわけで、今の方向としては、3月11日の金曜日を含む金・土で行くのか、3月12日からということで12、13の土日に行くのかというのを検討しているところでございます。

・また、接種券の方は3月25日に送付ができるように準備を進めており、決まりましたら来週の本部で資料を出してお諮りしたいというふうに考えています。私からは以上です。

(福祉保健部長)

・ワクチンの方の供給も確実な情報がなかなか来ない中で、担当のほうに苦勞されているということになります。できる限りの対応ということでやっていることでご理解いただきたいと思えます。

## 2 陽性者・濃厚接触者について

(健康課長)

・資料としてお配りしたのが、待機期間が7日間になったところをお示しした資料になります。基本的には陽性者の方も無症状の場合には、発症日または症状がない方は検査日の翌日から7日間で待機の方は終了するという形になります。濃厚接触者については陽性者と最終的に接触した日の翌日から7日間というのが自宅待機期間になります。保健所と連絡がつかない中ではなかなか判断が難しいんですけども、家族内でも陽性者と分離が出来た場合については、分離ができた日の翌日から7日間で無症状であれば自宅の待機期間が終了するという予定になります。わたくしの方からは以上です。

(総務部長)

・実際にはもう職員課の方で、問い合わせ等についてはこの内容で対応している。あらためて庁内に周知したいと思います。

(子ども家庭部長)

・小さいお子さんの場合というのは従前どおり7日間プラス7日間が生きているのかどうかっていうところ、そこだけすみません。もう1度確認させてください。

(健康課長)

・そのような認識で私もおります。直近で保健所とコンタクトをとったときにまた再確認してみまして、情報が変わっているようであれば皆さんと共有したいと言うふうに思っております。以上です。

(市長)

・今の情報とても大切な情報になりますので、委託先の事業者様からのいろんなご質問とかもあると思うので、分かり次第、必ず共有するようにしてください。よろしくお願いします。

(福祉保健部長)

・今の話は教育委員会の方も周知・共有方お願いしたいということ、今市長から言われたように対応して行きたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

(総務部長)

・直近の職員の感染状況について報告させていただきます。まず1月中の陽性者の人数、これ会計年度もすべて含みますけれども、九名おりました。先週の一週間、これも七名出ております。今週は、昨日の時点で四名おります。先週末時点で、今までの総トータルで今35人になっております。濃厚接触者等の職免の対象になっている職員、正直日々動いてはいるんですけれども、感覚的に20人から25人程度は常時いるような状況になっております。これが直近状況になるんですけれども、公表基準の改訂によって、すべてホームページには、基本的には職場内において濃厚接触とか市民に対しての濃厚接触という危険がない限りは、今もう公表はしていない状況です。

・今、試行でやっているテレワークのパソコン3台が空いてる状況。もし一般職でテレワークの要請が出た場合、台数が限られてるっていうのもあるんですけれども、例えば部長職の皆さん持っているこのパソコンをとりあえず数日貸してしまうっていうことも、考え方としてはありかなと思ってる。それがもし庁議とか、こういうときに被ってしまうっていうような場合には、3台をとりあえずこの庁議のリモート会議用に貸し出すとか柔軟的に運用は考えられますので。濃厚接触で自宅にいてできるということで、その必要性があるということであれば、その辺の運用もちょっと柔軟的に対応はして行くようかなと思っております。そのようなことがありましたら、私の方までご一報いただければ、ご相談に乗りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(市長)

・今、加藤部長からお話があった件はあのぜひよろしくお願いいたします。改めて申し上げますが、ものすごい感染力が強いということです。オミクロン株のまた、新たな亜種が

台頭してきているということでもあります。市内におきましても人口でいうと31人に1人が陽性者となっているという状況であります。市役所においても、これだけの職員の方がいますから、ほぼそれと同じような比率で発生してきているという状況で、大切なことは、家族や自分自身がちょっと熱っぽかったり、喉や咳が出たり、喉に痛みが出たり、咳が出たりがあったときには無理をせずにですね、会社を休むとか、ご家族の方も学校休ませるとか、もう早期に判断をあのしていただければと思いますので、よろしく願いをいたします。以上です。

### 3 各部連絡事項

(市長)

・パルスオキシメーターは足りませんか？なかなか回収も大変でしょうが、必要であれば追加で準備をしなければいけないのではないかと考えております。今どんな状況ですか？追加発注するなら検討してください。

(健康課長)

・50台追加して現状は回り出しているところですが、市役所ではまだまだ貸せるのがあっていう情報が広まっていくと。この台数で足りなくなる事もあのお考えられるので、ちょっと発注しても納品まで時間がかかることもありますけれども、早め早めに手配していったらというふうに考えております。以上です。

(学校教育部長)

・新型コロナウイルスの児童生徒の感染の状況です。1月7日から2月7日までの状況ですが、小学生につきましては143名。中学生につきましては36名となっております。また、小学校一年生から五年生のワクチン接種の対象となっていない方の割合につきましては128名で、小中学生全体の71.5%となっているところです。それからもう一つございます。子供関係の優先接種の対象として学校の先生方を対象にさせていただきまして、ありがとうございます。また、この中で給食等も含めた委託業者も優先対象とすることになったことについて報告させていただきます。よろしくお願いいたします。以上です。

(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)

・大津部長がおっしゃったように、委託事業者も含めた形で教育委員会と優先接種予約を入れているところです。

(生涯学習部長)

・先ほど市長からもお話しありましたが、まん延防止等重点措置が2月13日までということで、今週中にその延長について国が決定する予定です。それに伴い市施設の対応につ

いても、基本的に今の感染状況において変更はないと考えます。

東京都のまん延防止等重点措置内容が、大きく変わるようなことがありましたら、関係部局、また理事者の方と相談した上で、対応の方を決めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(総務部長)

・職員に対する対応も同様でございます。理事者と担当の方でまん延防止等重点措置の変更については対応させていただきますので、よろしくお願いいたします。皆さんには、なるべく情報共有するような形でお知らせしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(福祉保健部長)

・先ほど言ったように、ずいぶん職員の方も蔓延して来まして、特に少人数職場の方ですと影響が大きくなるのがあります。先ほど市長が言われたように、仕事の影響が出る時にも、迅速に家族の感染を防ぐとか、職場感染を防ぐってことがあるので、適宜課長職者における即断が必要になりますので、遅れることなく判断をしていただきたいと思いますので、そろそろそういうフェーズ、現実的になってきているというふうに再度認識をして、課長職の皆様の方に、お伝えいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

(教育長)

・まず最初に各学校の教員に対して優先接種をしていただくということを決めていただきまして、本当にありがとうございました。各学校の先生方もですね、しっかりとした対応していただいていることに感謝しているという次第でございます。それからですね。あの本当にこのオミクロン株はものすごい勢いで広まっていて、知り合いの世田谷区の委員では一日に200人を超えていると言うような状況で、今は少し少なくなっているという話です。今の状況で行くと、少し一週間ぐらい小金井は遅れている感じがしますので、さらに感染が広がるのではないかと、その後世田谷区なんですけれども、かなり子供たちの感染は減っているという状況ですので、ここもうひと踏ん張りするっていうのが一つ重要なことだと思います。迅速な対応お願いいたします。まあ、いずれにいたしましても対応非常に困難を極めると思っておりますので、しっかりとみんなでこう話し合ってくださいね、最善の方法を選択できたらいいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。以上です。

(副市長)

・先ほどの堤課長からもお話ありましたように、なかなかの5歳～11歳のワクチンの確保難しいという状況のようであります。私の方で東京都と対応してできるかどうか。なか

なか難しいところがあるかと思いますが、あのなんとか頑張りたいなというふうに思います。さらにワクチン担当の方もかなり負荷がかかって、去年のその夏に二回目の接種をやった時点のところと、多分今オペレーション相当厳しい状況になってるんだと思います。そういった意味では、ワクチンチームのケアというか、フォローというか。そういったものを全庁でやっていく必要があるだろうなというふうに思ってます。各部局もきついのはもちろんあるんですけど、やはりこの今大黒柱なってるところを倒すわけにはいきませんので、ぜひみんなでフォローして行きたいという風に思っています。どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

(以上)